

公表

## 事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	コンパス			
○保護者評価実施期間	令和 6年 10月 15日	～	令和 6年 10月 25日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	12名
○従業者評価実施期間	令和 6年 12月 16日	～	令和 6年 12月 20日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7 年 3月 6日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	飯山市子ども館「きらら」の中に事業所があるため、地域の児童と共に過ごし、共に成長できる環境である。	同じ空間の中で当たり前前障のある人もない人も過ごすことを基本としながらも、時には「きらら」のお子さんと一緒に参加できるイベントを企画し、意図的に関わる時間の提供を行っている。	月に2回、「きらら」の先生方との合同会議があるのでその場を活用して例えばコンパスからきららへのお子さんの移行について話し合いをしたり、当たり前前障で過ごすための仕掛けをどうするか一緒に検討するなどしていく。
2	自事業所の中に行動支援事業所があり、そこと連携をとる事でより専門性と根拠ある支援を提供することができる。	支援を提供する中で困ったことがあった時には行動支援事業所の職員にも相談したり、時には支援している所を見てもらいアドバイスを貰うようにしている。	強度行動障害の研修に参加するなどして知識の向上を図り、より専門性と根拠ある支援の提供ができるようにしていく。
3	職員数が少ない事で情報の共有が行いやすい。	チャットを活用するなどしてタイムリーに情報共有を行うとともに、必要に応じて会議を開催して支援内容や方向性の確認を行うようにしている。	情報共有については引き続き、チャットを活用するなどしてタイムリーに行えるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動等のスペースが十分に確保されていない。	元々、従たる事業所と合わせて定員10名だったが今年度より従たる事業所を廃止し、1事業所だけになったため。	個々の活動の時間を調整したり、「きらら」全体を使用するなどの工夫が必要。
2	保護者同士の交流の機会がなく、家族への支援が十分にされていない部分がある。	個々では希望者には面談を行ったり、お迎えや送迎時にお話したりする事はあるが、保護者会等は無いため。	引き続き、個々で面談等を行う事は継続しつつも、保護者会や保護者同士の交流の機械の場の必要性について検討していきたい。
3	支援会議が支援時間と重なっていることが多く、なかなか出席できない。	児発管も支援員として日々、現場に入らざるを得ない状況のため。	適切な職員体制の在り方の検討や、業務分担、支援内容の見直しを行う事で会議に参加できるようにする。